

AutoPilot 操作説明書

業務自動運用支援システム

WINDOWS版

はじめに

業務自動運用支援システム（以後、オートパイロットと記す）は、「キーボードとマウスの操作」を登録し「スケジュール実行」することで**無人でパソコンを操作し業務の自動運用を実現**します。

オートパイロットは、以下の手順により運用します。

- ① 自動運用したい「定例的な処理」を**作業**として登録する。
- ② 目的の作業を実現するための「キーボードとマウスの**操作**」を定義します。
- ③ 作業の実行**スケジュール**を指定します。

【①作業一覽】

業務自動運用支援システム 【オートパイロット】						
No	実行する処理の作業名	実行時間	残り時間	状態		
1	TERMSで予定した会議に出席	13:58	22:47	開始		
2	アマンの注文履歴を確認					
3	グループマップを開く(東京駅)					
4	サイトの重要要素へのリンクアップ(定例作業)	20:00	04:49	開始		
5	スポーツチーム管理画面の予約状況を確認					
6	ソフトの開発を行う(VS2019)					
7	ソフトの開発を行う(VS2019)					
8	ネットビジネスの新作をチャック					
9	バックアップしてからパソコンの電源オフ	20:30	05:19	開始		
10	パソコンを再起動					
11	ホームページ作成を行う					
12	マネーフォワードで今月の家計簿取り次表示					
13	ラインを開く	09:00		停止		
14	リモートデスクトップで管理サーバに接続					
15	企業年金のサイトで年金受給額を確認					
16	健保組合の保険所の抽選結果の確認					
17	新鮮豚の時刻表と運用状況					
18	暗号化されたログイン					
19	本日の訪問客の一覧をダウンロードしてメール送信	09:00	17:49	開始		
20	開発ソフトの説明書(EXCEL)を開く					
21	作業作成中 (下書き)					



【②操作一覽】

目次

第1章 作業名の登録とスケジュール設定	1
第2章 キーボード・マウスを自動操作するための定義を作成	3
第3章 操作として指定できるアクション	5
第4章 座標取得	10
第5章 繰返処理	11
第6章 操作の確認	12
第7章 操作作成の注意事項	13
第8章 製品仕様	15

第1章 作業名の登録とスケジュール設定

目的とする作業を作成・更新する方法を説明します。
オートパイロットを起動すると「作業名の一覧」が表示されます。

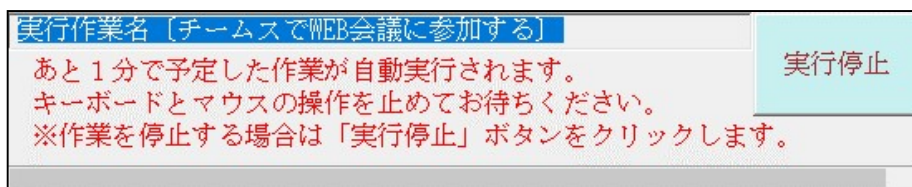


- ① 登録されている「作業名」が一覧で表示されます。
スケジュール実行が予定されている「作業」は赤いラインで色分けされます。
選択されている「作業」は青いラインで色分けされます。
実行時間 : 設定したスケジュール実行時間
残り時間 : スケジュールが実行されるまでの残りの時分
状態 : 開始＝スケジュール実行まで待機中 停止＝スケジュール実行停止中
※開始時は、00～999まで指定できます。
→ 明後日の15:00に実行したい場合は、**63:00**と指定します。(3日間隔で15:00に実行します)
※「開始時分が空白」または「開始分が59より大きい」場合はスケジュール登録は無効になります。
- ② 「作業名」をクリックして選択すると、②欄に表示され編集・操作することができます。
- ③ 「作業」を実行させたい時間を時分で指定します。
開始ボタンでスケジュール実行が設定され、停止ボタンでスケジュール実行を停止します。
作業のいずれかがスケジュール実行が設定されている場合は、右の緑の輪が回転します。

- ④ 新しい「作業」を作成する場合にクリックします。
- 作業の詳細を登録する画面が表示されます。（詳細は第2章で説明）
- ※ 作業名はいったん「__作業作成中__〔下書き〕」として作成されます。
- ⑤ ②の欄で新しい作業名を入力後に、ボタンをクリックすると**新しい作業名**に更新されます。
- ⑥ 選択した作業を、**即時に実行**する場合にクリックします。
- ①の「作業名」をダブルクリックしても、作業が即時実行されます。
- ⑦ 選択した作業の「操作一覧」画面が表示されます。（詳細は第2章で説明）
- ⑧ 当システムをタスクトレイに格納しバックグラウンドで動作します。
- ⑨ 当システムを終了します。そのためスケジュール実行はされません。

◆ **スケジュール実行時間の1分前になると、以下の画面が表示されます。**

「実行停止」ボタンで作業の実行を停止できます。



第2章 キーボード・マウスを自動操作するための定義を作成

作業の詳細は、複数の「キーボードとマウスの操作」から構成されます。
以下に「操作名の一覧」を示します。

キーボード・マウスを自動操作するための定義を作成する

自動操作する処理作業名 [03]健康組合の保養所の抽選結果を確認する 処理作業名を削除

No.	操作する名称	X座標	Y座標	アクション	入力データ	停止	繰返
1				ショートカットを入力する	Win+D (画面消去)	1	
2	ブラウザを起動する			アプリケーションを実行する	https://www9.tjk.gr.jp/webh/index.jsp	2	
3	最大化を解除	1729	398	ショートカットを入力する	Win+↓ (最大化解除)	2	
4	ブラウザのサイズを固定化する			アプリケーションの表示設定	TJK保養所システム	1	
5	健康保険番号1入力	1321	589	文字を入力する	*****	0	
6	健康保険番号2入力	1402	588	文字を入力する	*****	0	
7	パスワード入力	1332	615	文字を入力する	*****	0	
8	ログインをクリック	1307	654	マウスでクリックする		1	
9	抽選結果の確認をする	1615	461	マウスでクリックする		0	

座標取得

NEW
CLS
INS

番号 操作する名称 横縦座標 アクション(選択) 停止秒

新規 挿入 削除

すべてのチェックをOFFにします
選択した操作を実行

『繰返し処理』の設定

No	~	を	回繰返す
No	~	を	回繰返す
No	~	を	回繰返す

保存して終了
キャンセル

① 「作業名」が表示されます。

ここから他の作業名を選択すると「別の作業」に遷移することができます。

② 作業名を削除することができます。

削除後は、「作業名の一覧」画面に戻ります。

③ 「作業」の詳細な「操作名の一覧」です。（操作は上から順に実行されます）

操作する名称 : キーボードとマウスの「操作内容が分かる任意の名称」を指定します。（任意指定）

X座標 : ⑬の座標取得で指定したXY座標が設定されます。（詳細は第4章で説明）

Y座標 : 同上

アクション : 実行するアクションを選択して指定します。（詳細は第3章で説明）

入力データ : アクションに付随する入力データを指定します。

停止 : 指定した操作の実行後に、停止する秒数を指定します。

繰返しする「操作」は赤いラインで色分けされます。（詳細は第5章で説明）

④⑤⑥⑦

③の操作名一覧から任意の操作を選択すると、この編集領域に表示されます。

★操作の編集は、この欄で行います。

⑧ 新規の「操作を追加」する場合にクリックします。

最終行に追加されます。

⑩の座標取得の「NEW」ボタンでも操作は追加できます。

⑨ 操作と操作の間に「操作を挿入」する場合にクリックします。

選択している操作の前に追加されます。

⑩の座標取得の「INS」ボタンでも操作は挿入できます。

⑩ 選択した「操作を削除」する場合にクリックします。

⑪ 作成した操作を行単位で動作確認することができます（詳細は第6章で説明）

⑫ 作成した「操作名」を繰り返し実行する場合に指定します。（詳細は第5章で説明）

⑬ 「操作名の一覧」の表示直後は緑の輪が回転していますが、「修正が行われた」時点で回転は停止します。

⑭ 操作の修正を保存して終了します。

新規作成で作業名が「__作業作成中__〔下書き〕」の場合は、以下の画面が表示されます。

新しい作業名を入力しOKをクリックしてください。



※CANCEL をクリックした場合は、作業名は「__作業作成中__〔下書き〕」のまま保存されます。

⑮ 操作の修正を破棄して終了します。

⑯ スコープの中心をクリックすると、⑤の横縦座標が設定されます。（詳細は第4章で説明）

第3章 操作として指定できるアクション

操作を登録する場合は、以下のアクションを選択することができます。

※新規の場合は 第2章③の「操作を追加」してから行ってください。

3.1 マウスをクリックする

- マウスの左クリック
- マウスのダブルクリック
- マウスの右クリック

選択(クリック)した『操作の編集』

番号	操作する名称	横縦座標	アクション(選択)	停止秒
1	座標を指定してマウスをクリック	771 605	マウスでクリックする	4

操作の内容が分かる任意の**名称**を設定

座標取得のスクリーンショットをクリップして座標を設定

マウスでクリックする種類を**選択**

操作を実行し、次の操作を実行するまでの**停止秒**を指定



◆マウスのクリックは、座標を指定しないと動作しません。

3.2 文字を入力する

選択(クリック)した『操作の編集』

番号	操作する名称	横縦座標	アクション(選択)	入力するデータ値	停止秒
5	メールアドレス入力	769 519	文字を入力する	admin@ybb.ne.jp	2

操作の内容が分かる任意の**名称**を設定

座標取得のスクリーンショットをクリップして座標を設定

文字を入力するを**選択**し入力する**値**を設定

操作を実行し、次の操作を実行するまでの**停止秒**を指定



◆入力できる文字数は、最大で256文字です。

◆入力した文字列は、「操作の一覧表」に反映されますが "*****"として表示されます。

◆入力するデータ値において

文字列内に %DATE% を指定すると YYYYMMDD形式の年月日に変換されます。

文字列内に %TIME% を指定すると HHMMSS形式の24時間の時分秒に変換されます。

3.3 テキストの「複写 と 貼付」

- テキストの複写
- テキストの貼付

選択(クリック)した『操作の編集』

番号	操作する名称	横座標	縦座標	アクション(選択)	停止秒
1	文書の内容を複写	985	588	テキストを複写する	2


操作の内容が分かる任意の**名称**を設定

座標取得のスクリーンを**クリック**して座標設定

アクション(選択)
テキストを貼付する

テキストの「複写または貼付」を**選択**

操作を実行し、次の操作を実行するまでの**停止秒**を指定



- ◆複写できるのは、テキストのみです。(画像等の複写は「3.6_ショートカットを入力する」を参照)
- ◆複写できるテキストは最大65536バイトです。

3.4 指定秒間は停止する

選択(クリック)した『操作の編集』

番号	操作する名称	アクション(選択)	一時停止する秒
2	ここで5分間停止する	指定秒間は停止する	300

操作の内容が分かる任意の**名称**を設定

指定秒間は停止する**選択**し、停止する秒数を**設定**

3.5 各種キーを入力する

選択(クリック)した『操作の編集』

番号	操作する名称	横縦座標	アクション(選択)	入力するキー値	停止秒
10	ホームボタンを打鍵	109 829	各種キーを入力する	PageUp PageDown <u>Home</u> End BackSpace Space Tab Esc Enter Insert Delete ← ↑ → ↓ F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12	4

操作の内容が分かる任意の名称を設定

座標取得のスコープをクリックして座標設定

各種キーを入力するを選択し打鍵するキーを選択

操作を実行し、次の操作を実行するまでの停止秒を指定

◆打鍵できるキーは、必要に応じて追加できます。

3.6 ショートカットを入力する

選択(クリック)した『操作の編集』

番号	操作する名称	横縦座標	アクション(選択)	実行するショートカット	停止秒
9	ALT+F4でアプリ終了	981 585	ショートカットを入力する	Win+D (画面消去) Win+↓ (最大化解除) Win+↑ (最大化設定) <u>Alt+F4 (終了)</u> Ctrl+A (全選) Ctrl+C (複写) Ctrl+X (切取) Ctrl+V (貼付) Ctrl+F (検索) Ctrl+Z (元戻) Ctrl+S (保存)	4

操作の内容が分かる任意の名称を設定

座標取得のスコープをクリックして座標設定

ショートカットを入力するを選択し、打鍵するショートカットを選択

操作を実行し、次の操作を実行するまでの停止秒を指定

◆使用状況によっては縦横座標の設定が不要なショートカットがあります。(第6章_テキストの部分複写を参照) 例) Win+D(画面消去)は、画面をクリアするショートカットの為、縦横座標の設定は必要ありません。

◆Ctrl+C と Ctrl+V はテキスト以外の「複写と貼付」での使用を推奨します。

3.7 アプリケーションを実行する

選択(クリック)した『操作の編集』

番号	操作する名称	アクション(選択)	実行するアプリケーション	アプリ 検索
10	PDFを開く	アプリケーションを実行する	F:\ドキュメント\譲渡証明書.pdf	停止秒 8

実行するアプリケーションが分かる任意の名称を設定

挿入 削除

アプリケーションを実行するを選択し実行するアプリケーションを指定

実行するアプリケーションをエクスプローラで検索

操作を実行し、次の操作を実行するまでの停止秒を指定

実行できるアプリケーション	指定内容
MS-OFFICEファイル	エクセル/ワード/パワーポイントなどのOFFICEファイル名
その他の文書ファイル	専用ソフトウェアがインストールされている文書ファイル名 JPG/BMP等の画像ファイルも指定可
ホームページアドレス	ブラウザで認識できるインターネットアドレス MS-Edgeが起動されます
アプリケーション	インストールされているアプリケーションのファイル名 (拡張子:EXE) (指定例: EXPLORER.EXE C:\¥TEMP)
バッチファイル	バッチファイル名 (拡張子:BAT)
DOSコマンド	DOSコマンド名 (指定例: MKDIR C:\¥TEMP¥SAMPLE_DIR)
エクセルの詳細な制御	<p>以下のコマンドを入力するとエクセルのセル単位での制御ができます。</p> <p>OPENEXCEL 引数に開きたいエクセルファイル名を指定します ・存在しないファイル名の場合は新規作成されます 指定例) OPENEXCEL C:\¥TEMP¥SAMPLE.XLSX</p> <p>OPENSHEET 引数に開きたいシート名を指定します ・存在しないシート名の場合は新規作成されます 指定例) OPENSHEET SAMPLE_SHEET</p> <p>GETCELL 引数に取得したいセル名を“A1”形式で指定します ・取得した値はクリップボードに格納されます 指定例) GETCELL B12</p> <p>PUTCELL 引数1に設定するセル名を“A1”または“A1:B2”の形式で指定します 引数2に設定したい値を指定します 指定例) PUTCELL A1:B2 “XXYYZZ” クリップボードの値を指定したい場合はPASTEを指定 指定例) PUTCELL A1:B2 PASTE</p> <p>BORDERLINE 引数1にボーダーラインで囲むセルを“A1”または“A1:B2”の形式で指定します 引数2に線の太さを標準線はSTANDで太線はBOLDを指定します 引数3に線の色を以下の値で指定します ・“黒”, “白”, “赤”, “緑”, “青”, “黄”, “桃”, “水”, “茶”, “翠”, “紺” 指定例) BORDERLINE A1:B2 BOLD 赤</p> <p>CLOSEEXCEL エクセルを保存して終了します (引数はなし) 指定例) CLOSEEXCEL</p>

◆ 実行するアプリケーションにおいて

文字列内に %DATE% を指定すると YYYYMMDD形式の年月日に変換されます。

文字列内に %TIME% を指定すると HHMMSS形式の24時間の時分秒に変換されます。

3.8 アプリケーションの表示設定

アプリケーションの表示設定は、「3.7 アプリケーションを実行する」で起動されたアプリケーション画面のサイズを指定された位置とサイズに固定します。（ボタンやテキストボックスを常に同じ位置にするため）

選択(クリック)した『操作の編集』

番号	操作する名称	アクション(選択)	アプリケーションのWindowsタイトル	タイトル検索
2	ファイルマネージャのサイズ固定	アプリケーションの表示設定	ファイル マネージャ	

操作の内容が分かる任意の名称を設定

挿入 削除

横座標 960 縦座標 20 横幅 960 縦高 720

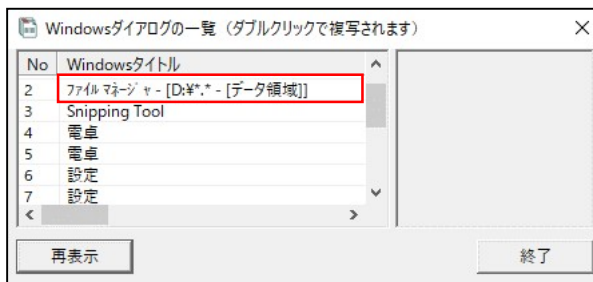
座標確認 座標取得

アプリケーションの表示設定を選択し起動したアプリケーションをタイトル検索から選択

現在、画面に表示されているアプリケーションのタイトル一覧が表示されるので選択

- ◆タイトル検索では、アプリケーションのWindowsタイトルがそのまま表示されます。
実行毎に「タイトル」が変わるような場合は、「必ず表示される」の部分名を指定してください。

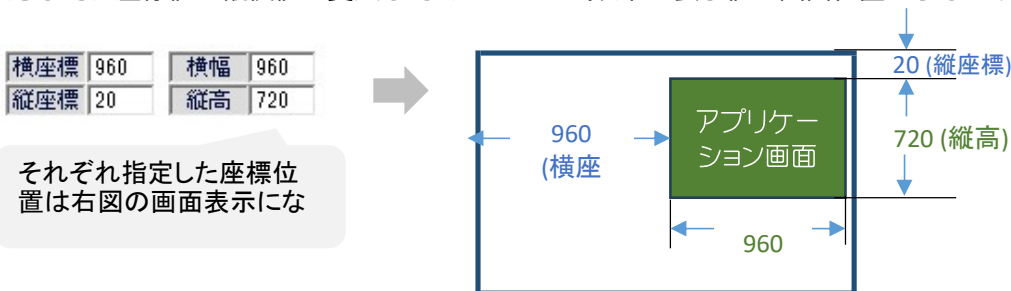
例) ファイル マネージャ - [D:¥*. * - [データ領域]] は ファイル マネージャ - というタイトル名を指定します。



Windowsダイアログの一覧からアプリケーションのWindowsタイトル欄への設定方法。

- Windowsタイトルを選択して終了ボタン
- Windowsタイトルを選択してダブルクリック

- ◆アプリケーションの新しい画面サイズは、デフォルトで画面の右半部の上部 2/3 に位置する値が設定されます。
必要に応じて、座標値と縦横値を変更してください。（以下に表示値と画面位置を示します）



◆座標確認

指定された座標位置で、タイトル画面を表示します（表示を確認）

◆座標取得

タイトル画面をマウスによってサイズ変更した場合、新しい座標を座標位置に設定します。
（キーボードで座標位置に値を指定することなく、マウス操作のみで座標位置を設定できます）

- ◆画面サイズを指定する4つの値は省略できません。
省略するとデフォルト値に補正されます。

第4章 座標取得

キーボード・マウスを自動操作の定義を作成中は、常に**座標取得画面**（以降:画面と記す）が表示されます。座標取得のスクープの中心を**クリック**すると、その位置座標が編集領域の「**横縦座標**」に**自動設定**されます。さらに横縦座標は「**操作一覧**」に**自動反映**されます。

No.	操作する名称	X座標	Y座標	アクション	入力データ	停止	繰返
1	画面をクリアにする	993	586	ショートカットを入力する	Win+D (画面消去)	0	
2	アイクラウドを開く			アプリケーションを実行する	https://www.icloud.com/	2	
3	最大化する	1383	622	ショートカットを入力する	Win+↑ (最大化設定)	2	
4	サインインをクリック	723	618	マウスでクリックする		1	
5	メールアドレス入力	769	519	文字を入力する	*****	1	
6		1174	515	マウスでクリックする		1	
7	パスワード入力	765	570	文字を入力する	*****	1	
8		1175	572	マウスでクリックする		0	

番号	操作する名称	横座標	縦座標	アクション(選択)	停止秒
4	サインインをクリック	738	618	マウスでクリックする	1

『繰返し処理』の設定	
<input type="checkbox"/> No	を 回繰返す
<input type="checkbox"/> No	を 回繰返す
<input type="checkbox"/> No	を 回繰返す

- ◆ **画面内**でクリックした座標を取得します。
- ◆ 座標取得のクリック後に **1 秒間画面が消えます**。その間は「実際にその座標をクリック」することができます。
- ◆ NEWボタンをクリックすると、末尾に操作が**新規作成**されます。
- ◆ INSボタンをクリックすると、選択されている操作の前に**操作が挿入**されます。
- ◆ CLSボタンをクリックすると、取得した座標が**クリア**されます。
- ◆ 座標は、**エスケープキー**を入力することでも取得できます。
- ◆ 操作一覧から操作を選択すると、操作で設定した座標に画面が**自動的に移動**します。
- ◆ XY座標を手動で**任意の値に編集**することができます。編集後はエスケープキーを押下して座標を取得します。画面サイズ以上の値が指定された場合は、画面のサイズに補正されます。
- ◆ 画面を終了してしまった場合は、10秒以内に**自動的に復活**しますのでお待ちください。
座標取得画面が 行方不明あるいは意図せず画面外に移動した場合は、アイコンを右クリックしてWindowsを閉じるをクリックしてください。画面中央に再表示されます。

第5章 繰返処理

登録した操作は、**繰返しの設定**を行うことができます。

キーボード・マウスを自動操作するための定義を作成する

自動操作する処理作業名 [06]ネットフリックスの新作を見る 処理作業名を削除

No.	操作する名称	X座標	Y座標	アクション	入力データ	停止	繰返
<input checked="" type="checkbox"/> 1	画面をクリア			ショートカットを入力する	Win+D (画面消去)	1	
<input checked="" type="checkbox"/> 2	ネットフリックスの起動(アイコン)	726	1063	マウスでクリックする		4	
<input checked="" type="checkbox"/> 3	最大化を解除する			ショートカットを入力する	Win+ ↓ (最大化解除)	0	
<input checked="" type="checkbox"/> 4	画面を指定位置に配置			アプリケーションの表示設定	netflix	2	
<input checked="" type="checkbox"/> 5	新作の位置まで画面スクロール			各種キーを入力する	↓	4	■
<input checked="" type="checkbox"/> 6	右へスクロール(>)をクリック	1745	608	マウスでクリックする		8	■
<input checked="" type="checkbox"/> 7	ネットフリックス終了	1320	351	ショートカットを入力する	Alt+F4 (終了)	0	

選択(クリック)した『操作の編集』

番号 操作する名称 横縦座標 アクション(選択) 停止秒

マウスでクリックする

新規 挿入 削除

選択(チェック)した操作の『動作試験』

☒ すべてのチェックをOFFにします

選択した操作を実行

『繰返し処理』の設定

<input checked="" type="checkbox"/>	No	5	～	5	を	5	回繰返す
<input checked="" type="checkbox"/>	No	6	～	6	を	10	回繰返す
<input type="checkbox"/>	No		～		を		回繰返す

保存して終了

キャンセル

- ◆ **繰返しの指定**は、最大で3回指定できます。
指定方法は、チェック欄をONにして**開始行**と**終了行**を指定して**繰返し回数**を指定します。
- ◆ **繰返数**は、最大9999回まで指定できます。
- ◆ **繰返し**では以下の指定はできません。
 - ① 開始行が終了行より大きい
 - ② 開始行と終了行が「他の繰返し行」と重複している
 - ③ 開始行と終了行、繰返数のいずれかが**未設定**
- ◆ **繰返し指定**のある「操作」は赤いラインで色分けされます。

第6章 操作の確認

登録した操作は、行単位でステップ実行することができます。

キーボード・マウスを自動操作するための定義を作成する

自動操作する処理作業名

[02]新規開発のソフト環境を立ち上げる

処理作業名を削除

No.	操作する名称	X座標	Y座標	アクション	入力データ	停止	繰返
<input checked="" type="checkbox"/> 1	消去			ショートカットを入力する	Win+D (画面消去)	2	
<input checked="" type="checkbox"/> 2	ファイルマネージャ 起動	685	1060	マウスでダブルクリックする		2	
<input checked="" type="checkbox"/> 3	ファイルマネージャ 最大化解除			ショートカットを入力する	Win+ ↓ (最大化解除)	1	
<input checked="" type="checkbox"/> 4	ファイルマネージャ 再配置			アプリケーションの表示設定	ファイル マネージャ	1	
<input checked="" type="checkbox"/> 5	Dドライブ選択	885	106	マウスでクリックする		1	
<input checked="" type="checkbox"/> 6	ドライブ内容リフレッシュ	858	135	マウスでダブルクリックする		1	
<input checked="" type="checkbox"/> 7	開発環境クリック	918	207	マウスでダブルクリックする		1	
<input checked="" type="checkbox"/> 8	オートパイロットクリック	950	434	マウスでダブルクリックする		1	
<input checked="" type="checkbox"/> 9	開発段階のアプリケーション	1026	559	マウスでダブルクリックする		1	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 10	名前順に表示	1201	79	マウスでクリックする		1	
<input checked="" type="checkbox"/> 11	プロジェクト起動	1462	483	マウスでダブルクリックする		2	
<input checked="" type="checkbox"/> 12	ファイルマネージャ終了			アプリケーションを実行する	TASKKILL /F /IM WINFILE.EXE	0	

選択(クリック)した『操作の編集』

番号

操作する名称

横縦座標

アクション(選択)

停止秒

マウスでクリックする

新規

挿入

削除

選択(チェック)した操作の『動作試験』

☒ すべてのチェックをOFFにします

選択した操作を実行

『繰返し処理』の設定

☒ No 9 ~ 9 を 2 回繰返す

☐ No ~ を 回繰返す

☐ No ~ を 回繰返す

保存して終了

キャンセル

- ◆ 「操作名の一覧」のNo 欄の**チェックがON**の行が、「**選択した操作を実行**」ボタンで実行されます。
- ◆ 一括でNo 欄のチェックのON/OFFは「すべてのチェックをXXにする」のチェックをON/OFFします。
- ◆ **操作の実行中は、画面の左下に「実行状況が表示」**されます。

強制終了ボタンで操作を中断することができます。

No	操作名	X座標	Y座標	アクション	入力データ	強制終了
6	アドレスを複写する			指定秒間は停止する	52	

第7章 操作作成の注意事項

本章では、実際に操作を作成するにあたり**注意すべき事項**について説明します。
詳細は、第3章の**"操作として指定できるアクション"**を参照のこと

① Windowsデスクトップ画面をクリア

オートパイロットは、キーボードとマウスを自動操作するため**意図しない操作を防止**する観点から
最初にWindows**デスクトップ画面をクリア**（他の画面をすべて**最小化**）します。

② アプリケーションを実行する

アプリケーションの実行では、**第3.7章で記載**した指定方法で行います。
しかし、起動する対象の**アイコンをダブルクリック**することでもアプリケーションの実行はできます。
アプリケーションの起動が**確実に完了する秒数**を指定してください。（重要）

③ アプリケーションの表示設定

アプリケーションの表示設定は、起動した**画面内の座標が毎回同じ値**になるようするために行います。
表示位置を固定する為には、対象画面をタイトル検索して**特定**します。
画面タイトルが毎回変わるような場合は、必ず**変わらない部分名に修正**します。（重要）

表示画面がもともと最大化されている場合は、「アプリケーションの表示設定」が**有効にならない画面**があります。
その場合は、いったん「**最大化の解除**」を行ってから「アプリケーションの表示設定」を行う必要があります。

表示される画面内の目的とする座標を常に同じ値にするためには「**画面の最大化**」という方法もあります。

● 操作設定の最初の部分は、基本的に以下の通りとなります。

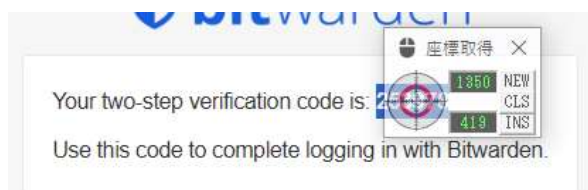
No.	操作する名称	X座標	Y座標	アクション	入力データ	停止
✓1	デスクトップ画面をクリアする			ショートカットを入力する	Win+D（画面消去）	1
✓2	TJKの予約ページを開く			アプリケーションを実行する	https://www9.tjk.gr.jp/webh/index.jsp	4
✓3	画面の最大化を解除			ショートカットを入力する	Win+↓（最大化解除）	2
✓4	画面サイズを固定する			アプリケーションの表示設定	TJK保養所システム	2

または

No.	操作する名称	X座標	Y座標	アクション	入力データ	停止
✓1	デスクトップ画面をクリアする			ショートカットを入力する	Win+D（画面消去）	1
✓2	TJKの予約ページを開く			アプリケーションを実行する	https://www9.tjk.gr.jp/webh/index.jsp	4
✓3	画面を最大化する			ショートカットを入力する	Win+↑（最大化設定）	2

④ 文書の一部のみ複写する例

メールに記載された文書の1部分を複写する場合は、①複写する文字列をダブルクリックで選択し
②CNTL+Cで複写します。（座標の指定は不要）



✓ 8	2段階の認証コードを複写	1357	463	マウスでダブルクリックする		1
✓ 9	選択されたコードを複写する			ショートカットを入力する	Ctrl+C (複写)	1

⑤ エクセルのセル値を取り出して使用する例（3.7章のEXCELの制御）

エクセル **PASSWORD.XLSX** の **PASS** シートの **B2** に記載されているパスワードを
クリップボードに複写して WEBメールのパスワード欄へ入力する手順を以下に示します

No.	操作する名称	X座標	Y座標	アクション	入力データ
✓ 1	画面をクリア			ショートカットを入力する	Win+D (画面消去)
✓ 2	エクセルを開く			アプリケーションを実行する	OPENEXCEL D:\WORK\PASSWORD.XLS
✓ 3	シートを開く			アプリケーションを実行する	OPENSHEET PASS
✓ 4	セルの値を取得する			アプリケーションを実行する	GETCELL B2
✓ 5	エクセルを閉じる			アプリケーションを実行する	CLOSEEXCEL
✓ 6	NIFTYメールサイトを開く			アプリケーションを実行する	https://sso.nifty.com/sso/login/?federation=%2FOaut
✓ 7	最大化する			ショートカットを入力する	Win+ ↑ (最大化設定)
✓ 8	ログイン名を入力	608	440	文字を入力する	*****
✓ 9	パスワード入力画面へ遷移	762	574	マウスでクリックする	
✓ 10	パスワード入力	589	453	テキストを貼付する	
✓ 11	ログインをクリック	710	651	マウスでクリックする	

◆ 3.7章のEXCELの制御コマンドは「使い方の誤り」があると以下のメッセージが表示されます。

メッセージ	原因
Excelファイルが指定されていません	OPENEXCEL に EXCELファイル名を指定していない
シート名が指定されていません	OPENSHEET に シート名を指定していない
ExcelがOpenされていません	OPENEXCEL を行わずに OPENSHEET を実行した
Rangeが指定されていません	GETCELL / PUTCELL にセル名を指定していない
Rangeの指定内容に誤りがあります	A1 または A1:B2 形式でないセル名が指定された
SheetがOpenされていません	OPENSHEET を行わずに GETCELL / PUTCELL を実行した
その他	コマンドと引数の間が半角空白でなく全角空白である

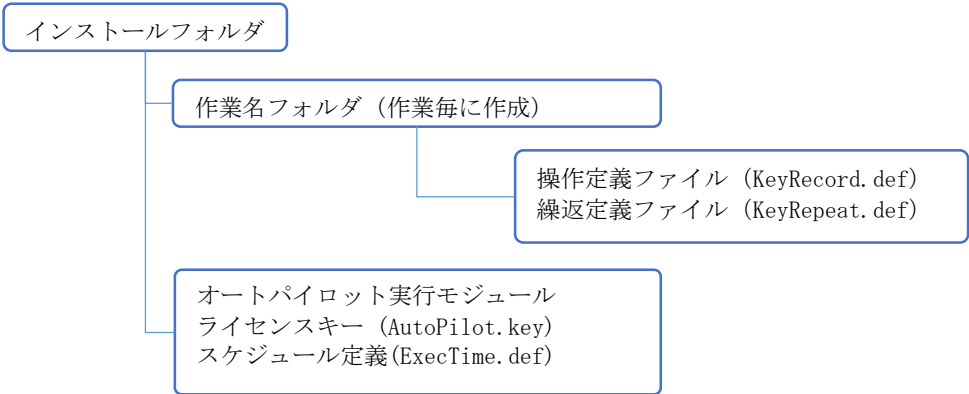
⑥ オートパイロットをバッチで実行する

以下のバッチファイルを参考にしてください。

```
SET DIR=C:\¥ExpLibFact¥AutoPilot
SET GARAKU=[00] 娯楽のホームページを開く
SET APPLC=[01] アイクラウドにログインする
%DIR%\¥AutoPilotControl.exe %GARAKU%
%DIR%\¥AutoPilotControl.exe %APPLC%
EXIT
```

← インストールフォルダ
← 実行する作業名 1
← 実行する作業名 2
← 作業名 1 を実行
← 作業名 2 を実行

第8章 製品仕様

製品名	業務自動運用支援システム オートパイロット
動作OS	Windows7 以降のWindows (32ビット版 と 64ビット版を提供) Windows_7 / 8 / 8.1 / 10 / 11 Windows-Server2008 / 2012 / 2016 / 2019 / 2022
推奨メモリ	2GB以上
開発環境	Visual Studio C++
ライセンス料	商用利用に限り有料 (個人利用は無料) 詳細はお問い合わせください。
製品構成	 <pre> graph TD A[インストールフォルダ] --> B[作業名フォルダ (作業毎に作成)] A --> C[オートパイロット実行モジュール ライセンスキー (AutoPilot.key) スケジュール定義 (ExecTime.def)] B --> D[操作定義ファイル (KeyRecord.def) 繰返定義ファイル (KeyRepeat.def)] </pre>
インストール・アンインストール方法	<p>インストールはダウンロードした「AutoPilot_x64.msi」を実行してください。 インストール画面が表示されたら画面の指示にしたがってください。</p> <hr/> <p>アンインストールは、コントロールパネルの「プログラムと機能」をクリックして表示されたアプリケーション一覧から「AutoPilot」を選択してダブルクリックします。</p>
特記事項	<p>スケジュール実行を待機している場合は、スクリーンセーバーやWindowsの自動ロックは解除されます。</p> <p>※スケジュール実行が定義されていない場合は、上記の限りではありません。</p>

あとかき

本製品は、DX実現に向けて『Expert Liblary Factory LLC』
が提供します。

住所：411-0942

静岡県駿東郡長泉町中土狩 557-52 エンゼルハイム三島 202号

代表：渡辺 昌己

Email goldman@ymail.ne.jp